

博物館、美術館に関する各種調査について

1 アンケート調査

(1) 目的

あり方（求められる機能、役割等）の検討をはじめめる上で、市民ミュージアム等の市内の文化施設の利用動向や市民ミュージアムに期待する展示や活動等の市民のニーズを把握し、あり方検討部会での議論の基礎資料として使用することを目的に調査するもの。

(2) 概要

対象：18歳以上の川崎市民1,400名（目標サンプル数400件）

設問数：20問程度

調査手法：郵送配布回収 無記名自記式

実施期間：8月下旬～9月上旬（予定）

(3) 内容

① 基本属性：年齢、性別、居住区、職業

② 市民ミュージアム等の利用動向

- ・市民ミュージアムへの来館有無及び頻度
- ・市民ミュージアム利用施設（博物館、美術館、映像ホール等）
- ・市民ミュージアムで利用してよかった点及び満足度
- ・他の本市文化芸術施設の利用動向

③ これからの本市における博物館、美術館への期待・ニーズ（博物館、美術館別）

- ・博物館（美術館）として求める資料・展示（体験型を含む）
- ・博物館（美術館）として収集（収集・保存）してもらいたい作品
- ・博物館（美術館）として行ってもらいたい企画展
- ・博物館（美術館）として行ってもらいたい活動・事業
(調査・研究、教育普及、地域連携等)
- ・博物館（美術館）として展示室以外に必要な施設・環境（カフェ、ホール、会議室等）

2 国内における博物館、美術館の動向調査等

(1) 近年の地域博物館、現代美術館のあり方の参考事例

9つの分野に即した視点から、国内における博物館・美術館の先行事例を紹介
近年注目されている施設・プロジェクト等の紹介

(2) 国等の関連施策等の動向

文部科学省や文化庁等の政策・制度等の紹介